

What's New?

『旅が好きだ！ 21人が見つけた新たな世界への扉』
河出書房新社／編 角田 光代／ほか著 河出書房新社
「14歳の世渡り術」シリーズ

旅に出る理由やタイミングは人それぞれ。旅先でどんなことを感じるのかも人によって違ってきます。楽しい旅ばかりじゃなく、ありえない失敗や最悪の出来事も、振り返ってみると強烈な思い出として残っていたり…。この本には、21人の旅好きの人たちが見つけた「旅の魅力」が詰まっています。巻末には旅のブックガイド付き。外出が難しい昨今ですが、本書を読んで新しい世界の扉を開いてみませんか？



『空飛ぶくじら部』 石川 宏千花／著 PHP 研究所

中学2年生の頼子と凧人は、謎の空飛ぶくじらに吸い上げられ、未知の世界へとタイムスリップ！空飛ぶくじらは気まぐれで、いつやってくるのか予測不能なため、活動は不定期。そんな「空飛ぶくじらの優美な遊び」によって様々な人や生き物との出会いを繰り返す冒険ファンタジーです。さあ、不思議な世界へ行っちゃい。



『ウルド昆虫記 バッタを倒しにアフリカへ』
前野ウルド浩太郎／著 光文社

「バッタに食べられたい」。そんな子供の頃からの夢を叶えるため、バッタ被害を食い止めるため、一人の昆虫学者がバッタを相手に繰り広げた死闘の日々を綴った本です。対バッタだけでなく、研究者として生きていくための苦労や、「好きなこと」を仕事にすることの大変さ、やりがいについても書かれており、将来のことで悩む人にも参考になる1冊です。

表紙画像の出典：各出版社のホームページより

長岡市立地域図書館(7館)

- 互尊文庫 TEL35-7981
- 西地域図書館 TEL27-4900
- 南地域図書館 TEL30-3501
- 北地域図書館 TEL22-7100
- 中之島地域図書館 TEL61-2165
- 寺泊地域図書館 TEL75-5159
- 栃尾地域図書館 TEL53-3005
- ◎ お問い合わせは北地域図書館へ

〒940-0876 長岡市新保町 1399-3 mail: lib.kita@nscs-net.ne.jp

★図書館ホームページ <https://www.lib.city.nagaoka.niigata.jp>

編集・発行／指定管理者 株式会社図書館流通センター (TRC)



ヤングアダルトとは、12～18歳くらいのみなさんのことです。

Young Adult News

Vol. 76

テーマ
ファンタジー

Fantasy

2020
Autumn



剣と魔法と冒険！想像力を刺激するファンタジーの世界を楽しもう！



代々魔法を守る魔女の家に生まれたネッドは、「魔法は邪悪で危険なもの、良きことだけに使うように」と教えられて育ちます。ある時、魔法を悪しきことに利用しようとする者が現れ、国同士の争いにまで発展していきます。少年の手に委ねられた魔法はどうなってしまうのか。悲しみを乗り越え、様々な困難に立ち向かっていく少年を描いた魔法ファンタジーです。

『魔女の子ども』

ケリー・バーンヒル／著 佐藤 見果夢／訳 評論社

今回のテーマは「ファンタジー」です。



『^{ひか}火狩りの王 1 春ノ火』 日向 理恵子／作
山田 章博／絵 ほるぷ出版

人類の最終戦争後、人々は天然の火を見ると体が燃えてしまう「人体発火病原体」に侵されていた。安全に使える火は「火狩り」が森に住む「炎魔^{えんま}」から採るもののみ。灯子^{とうこ}は自分を助けて死んだ火狩りの遺品を家族へ返すため、黒い森を抜け首都を目指す。『雨ふる本屋』などで知られる日向理恵子さんの長編ファンタジーです。



『魔法使いたちの料理帳』

オーレリア・ポーポミエ／著
田中 裕子／訳 原書房

ファンタジー作品に出てくる、妖しく不思議な力を持つお菓子のレシピ集です。みなさんおなじみの『美女と野獣』『ハリー・ポッター』に出てきたあの料理から『白雪姫』の毒リンゴまで…！作品を読んでから食べるか、食べてから読むかはあなた次第です。



『月の光を飲んだ少女』

ケリー・バーンヒル／著 佐藤 見果夢／訳
評論社

あるところに毎年赤ん坊^{いけにえ}を生贄に捧げなければならない、悲しみに閉ざされた町があった。いつものように赤ん坊を助けた魔女ザンは、その子にうっかり月の光を飲ませてしまい…。ファンタジーの世界が舞台ですが、現実の世界にも通じる深いテーマが隠されています。主人公ルナや森の家族、町の人々、様々な登場人物の視点から楽しめる物語です。

『湖の国』 柏葉 幸子／作 佐竹 美保／絵
講談社

気晴らしのつもりで東北に旅に出たミトが旅先で出会った不思議な人物の正体、そしてその場所の秘密とは…？

異世界で生きる人たちとの交流と葛藤を描き、時空を超えたスリリングな展開の中で、ミトのまっすぐな心が胸を熱く締めつけます。不思議な世界観から最後まで目が離せない1冊です。



『グレーテルの白い小鳥』

斉藤 洋／作 森泉 岳士／絵 偕成社

本書は、図書館が舞台の「ビブリア・ファンタジア」シリーズの3作目です。期間限定で図書館の児童読書相談コーナーで働くことになった主人公。利用者との奇妙な会話から、ふと立ち止まって自分の生き方や今後について振り返る姿に思わず感情移入してしまいます。作中『西遊記』や『グリム童話』など本に関する話題も豊富で、どんなお話か読み返したくなるような1冊です。ぜひシリーズを通して読んでみてください。

NO IMAGE